

## こんな時はどうしたらいいの？

### 水害などで水に濡れた文書の応急処置

水に濡れた文書をそのままにしておくと、カビが生えてしまったり開けなくなったりします。濡れた文書を乾燥させるために、ご家庭でも取り組める簡単な応急処置を紹介します。

#### ● 用意するもの

- ・吸水紙（キッチンペーパー、障子紙など）
- ・新聞紙、段ボールなど
- ・エタノール、スプレーボトル（霧吹き）
- ・使い捨てマスク・使い捨てゴム手袋
- ・エプロン、作業着（汚れてもいい服装）
- ・扇風機、空気清浄機 など

- \* 作業時には換気に注意しましょう。
- \* 使い捨て手袋・マスクを使用し、汚れてもいい服装（エプロン・作業着など）を着用します。
- \* 作業後にはうがい・手洗いを行います。



濡れた文書の乾燥に使用する用具

#### ■ 軽い水濡れの場合

- ・直射日光を避けて、日陰の風通しのよい場所で、文書を自然乾燥させます。
- ・乾燥させる文書の下には水分を吸収する新聞紙や段ボールを敷いておきます。
- ・扇風機などがあれば、空気の流れを作って乾かします。
- ・文書のページの間には、キッチンペーパーなどの吸水紙などを挟んで水分を吸い取ります。
- ・吸水紙が水分を吸い取って濡れたら、新しい紙と交換します。
- ・文書の紙と紙が貼りついている場合は、無理にはがさないようにします。
- ・カビを防ぐためには、文書に消毒用エタノールを噴霧して、しっかり乾燥させます。

#### ■ 水濡れがひどい場合（吸水乾燥処置の手順）

- ① 新聞紙の上にキッチンペーパーを敷き、濡れた文書を置きます。
- ② 濡れたページを開いてキッチンペーパーを挟み、いったん文書を閉じます。
- ③ 閉じた文書の表紙の上にキッチンペーパーを置いて、上から軽く押さえます。
- ④ キッチンペーパーを挟んだページを再び開き、吸水したキッチンペーパーをぬきとります。
- ⑤ 別のページを開き、新しいキッチンペーパーを挟んで、同じ作業を繰り返します。
- ⑥ 文書の水分が抜けたら、風通しの良い日陰で文書を乾燥させます。

**泥などの汚れや、カビなどで文書の損傷がひどい場合は  
広島県立文書館（082-245-8444）までご相談ください！**

\* 文書についた泥のかたまりで落とせそうなものは、ヘラなどで落としておきましょう。

\* カビが発生している文書は、他の文書から隔離しておきましょう。

私たちは 歴史資料を 未来へ伝えます

広島県立文書館（もんじょかん） 〒730-0052 広島市中区千田町三丁目 7-47

TEL082-245-8444 / FAX082-245-4541